

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名 **新** リニア中央新幹線活用戦略ブラッシュアップ事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部公共交通課リニア推進室リニア推進係 電話番号：058-272-1111(内 2733)

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,800千円(前年度予算額：—千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,800	0	0	0	0	0	0	0	9,800
決定額	9,800	0	0	0	0	0	0	0	9,800

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・リニア中央新幹線活用については、平成26年3月策定の「リニア中央新幹線活用戦略(以下「活用戦略」という。)」に基づき、順次進めている。既に7年が経過、社会環境の変化もあり、今後リニア開業効果をより高く得るには、活用戦略のブラッシュアップを行う必要がある。

(2) 事業内容

- ・有識者等からの意見を踏まえ、活用戦略をブラッシュアップし、「(仮称)活用戦略アクションプラン」を策定。

<検討の視点>

- ・広域的な観光プロモーション、企業誘致や移住定住に向けた地域力の向上、リニア駅を基点とした二次交通の在り方、テレワークやサテライトオフィスなどコロナ社会への対応など

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 10/10 (県全体の広域的な観点で検討が必要な事業であるため)

(4) 類似事業の有無

- ・なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	651	会議出席者への謝金
旅費	257	会議出席者への交通費
需用費	746	消耗品費、会議費
委託料	8,000	アクションプラン策定
その他	146	会場使用料
合計	9,800	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
「3地域にあふれる魅力と活用づくり」
「(2)次世代を見据えた産業の振興」
「⑤産業を支える広域ネットワーク・インフラの整備」

(2) 国・他県の状況

- ・令和元年5月、国のスーパー・メガリージョン構想検討会が「人口減少に
うちかつスーパー・メガリージョンの形成に向けて」の最終とりまとめ。

(3) 後年度の財政負担

- ・なし

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・リニア開業効果を県内に広く波及させていくための取組みであることから、
県が主体となって戦略を推進。

事業評価調書

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
リニア開業を見据えた「(仮称)活用戦略アクションプラン」を策定し、開業効果をより高く得られるようにする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

アクションプランの策定は、定量的な数値による表現に馴染まない。

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア開業効果をより高く得るには、活用戦略のブラッシュアップを行い、オール岐阜で取り組む必要があるため、県が積極的に関与する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 活用戦略のブラッシュアップを行い、オール岐阜で、リニア開業効果をより高く得られるよう、取組みを進める。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか リニア開業(令和9年)に向け、県民や関係団体等の調整、協力を得ながら、アクションプランを具現化していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	